

患者**1000**人アンケート分析

Q1. 医療の充実のために、消費税を上げることに賛成ですか？

Q2. 医療の充実のために、消費税率は何%くらいが適当ですか？

賛成
252人(26.01%)

どちらとも言えない

546人(56.35%)

反対
171人(17.65%)

5~10%
854人(88.13%)

10~15%
95人(9.80%)

15%以上 **20**人(2.06%)

協力=病院の通信簿

調査期間 2010年4月26日~5月11日

調査方法 病院の通信簿の会員を対象に

インターネット上で実施(匿名)

回答者数 969人(男523人、女446人)

消費税アップで皆保険を維持 無駄遣いを警戒する声も多数

民主党はマニフェストで、医療費の対GDP比をOECD諸国の平均並みまで上げると約束した。だが、「国の借金」が約883兆円にのぼる今、医療費を上げるためには国民にも何らかの負担が必要といわれる。そこで、今回は「医療の充実のために」との前提をつけ、消費税率アップの是非を患者とその家族に聞いてみた。

増税については賛成が約26%と4分の1にのぼり、反対の17%を上回った。ただ、「どちらとも言えない」が半数以上を占め、一概に賛成・反対とは表明できない複雑な胸中が垣間見える。

増税賛成派には「高齢化の進展を考えれば、仕方がない」、「国民皆保険制度を維持するための必要経費」などの意見が多かった。反対派からは「消費税は所得の低い人を直撃し、逆に健康悪化を招く」、「増税しても何に使われるかわからない」といった回答があった。

「どちらとも言えないという人に

その理由を聞いたところ、「上げ幅がわからなければ、態度を表明できない」といった意見のほかに、「税金の無駄遣いがないことが明らかにになれば、上げて構わない」、「社会保障分野以外に使わないという限定つきなら賛成」、「食品など生活必需品を非課税にするなら賛成」など、条件つきで税率アップを認めるとの回答が目立った。

仮に消費税を上げるとして、その税率について聞いたところ、5%から上げるとしても5%以内にとどめてほしいという患者が圧倒的に多く、医療の充実という目的であっても、生活がこれ以上苦しくなることには否定的な見方が主流だった。

◆病院の通信簿とは

会員数28万人、1日平均アクセス数2万件を誇るマンモスサイト。匿名の患者アンケートから待ち時間、医師の印象、看護師の態度、待合室の快適度など、医療機関を15項目ごとに5段階評価し、「リーダーチャート」にまとめてネット上に掲載。日本人になじみの深い通信簿形式で注目を集める。
http://www.tushinbo.com/